

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	府立大手前高等学校
准校長名	榊井 則子

開催日時	令和2年11月19日(木)17:00～19:00
開催場所	府立大手前高等学校
委員	前会長 原田委員 浅田委員 堀委員
事務局(学校)	榊井准校長 山本教頭 矢野首席(兼教務部長) 神原生徒指導部長 浦野進路指導部長 坂本第1学年主任 奥田第2学年主任 川端第3学年主任 比嘉第4学年主任
傍聴者	なし
資料	前期授業アンケート結果、学校案内パンフレット、令和2年度職種別求人数、就職活動に向けての動き
備考	なし

議題等(次第順)

- 1 前期授業アンケートについて
- 2 授業見学
- 3 現在の取組みについて
- 4 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 前期授業アンケートについて
 - ・全ての質問において「3.2(80%の肯定率)」以上の集計結果が出ており、本校の授業に対する取組み等全般について肯定的にとらえている生徒が多いという結果になっています。経年変化を見ると平成29年度下期をピークとして評価が下降していたところ、令和元年度上期を底に今年度上期までは評価が徐々に回復してきています。
 - ・質問内容ごとの集計結果によると、「授業に対する生徒の取り組み姿勢」の分野では約84%の生徒が「授業に必要な予習・復習ができており、授業中は、集中して話を聞き、学習に取り組んでいる。」と答えています。
 - ・「生徒による授業評価」の分野においても約86%の生徒が「先生は、毎時間、授業の目標やポイントを明確にし、ICT機器やプリント等の教材を効率的に活用している。」と回答しています。
 - ・「授業に関する生徒の意識」の分野では、約84%の生徒が「授業に興味・関心を持って取組み、知識や技能が身についたと感じている。」と回答しています。
 - ・このような結果になった理由としては、コロナ禍で年度当初、生徒が学校に来れない状況であったことから、学校に来て学べることの喜びや、周囲とのつながりが確認できたことによる安心感などが、生徒の授業に対する前向きな姿勢に現れたのではないかと考えられます。
 - ・また、学校としては、教員による「わかりやすい授業づくり」への工夫や、生徒が積極的に学ぼうとする仕掛けづくり、そして、SSWや学習支援員などの外部資源を活用しながら、生徒の様々なニーズに対応してきた結果の現れではないかと考えられます。
- 2 授業見学【授業見学の感想】
 - ・どの年代の生徒にも合う教材を先生が用意しており、オリジナリティを感じた。
 - ・なぜ学ぶのか、学んだことが社会とどうつながっているのかを捉えることが大切でそれを実践されていた。
 - ・プロジェクターを使用した授業がよかった。
 - ・楽しそうに授業を進めてくださっていた。
 - ・定時制の授業を見学したのは初めてで感動した。学ぶ原点、教える原点があるように思う。
 - ・上級生の教室では、教室全体の雰囲気が一つになっていてクラスのつながりが深いと感じた。
- 3 現在の取組みについて
 - ・COVID-19関連:授業の補充として土曜授業を10回実施した。生徒から(土)に授業があると、自分で勉強する時間が無くなるとの声があがった。
 - ・育成支援チームの取組み「大手前定時制5つのつよみ(入学生向け)」を作成。
 - ① 12月15日(火)には、「大手前定時制5つのつよみ(教職員版)」を作成。
 - ② 12月23日(水)には、「今後つよみを保持するために、今、困っていることを出し合う」
 - ③ 1月22日(金)には、「つよみを活かすために組織として支援できることを提案する」
 - 2月4日(木)職会にて成果発表→次回の学校運営協議会で報告。
 - ・研究授業・公開授業週間 11/16(月)～20(金)ひとつ以上の授業を参観して見学記録をシートに記入。
 - ・大手前(定)新しい挑戦:オンライン授業の構築(全教科)、日本語指導を必要とする生徒の授業における工夫、体制づくりに取り組んでいる。
- 4 その他 特になし

次回の会議日程

日時	令和3年 2月 12日(金)15:00～
会場	大手前高等学校 1階 大会議室